

「環境未来都市」の構築に向けて

2011年5月10日

シャープ株式会社

環境安全本部

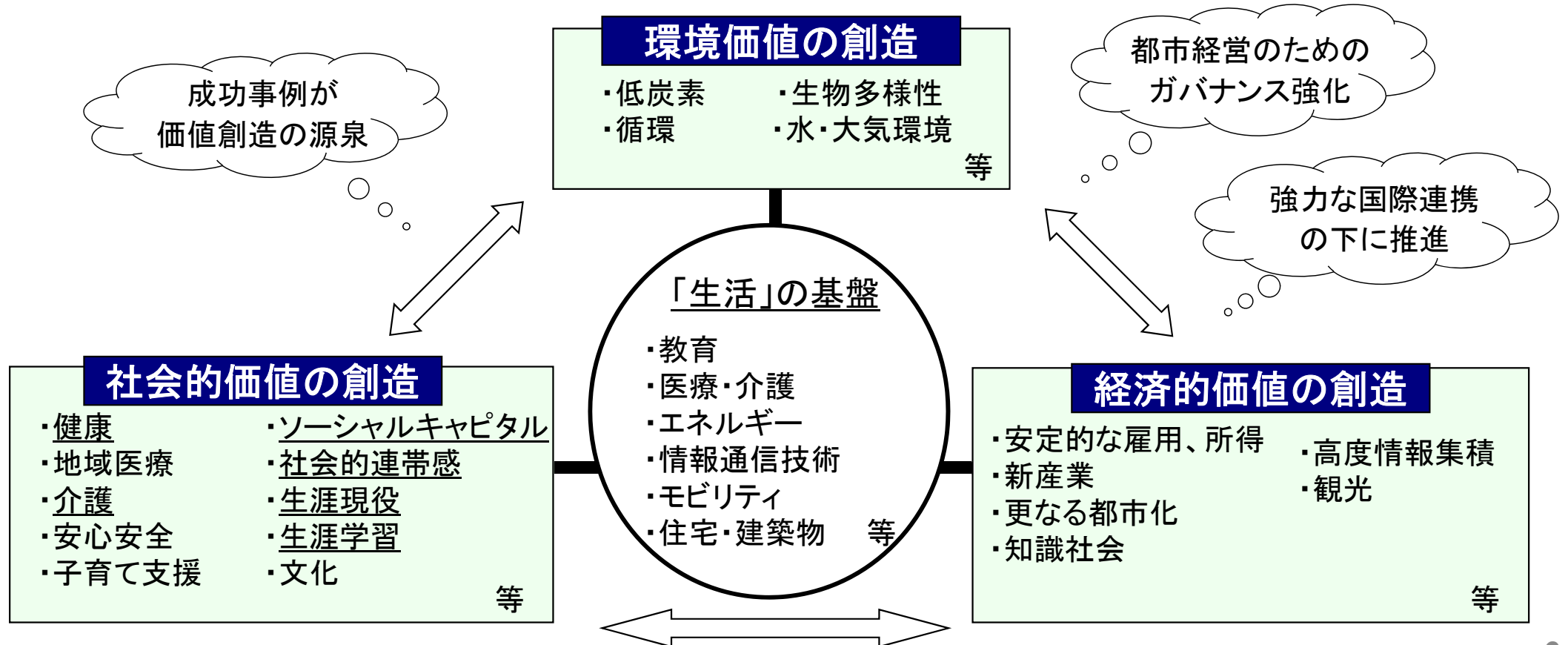
執行役員 兼 本部長 森本 弘

基本コンセプト

～環境・超高齢化対応等に向けた、人間中心の新たな価値を創造する都市～

- ① 「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」を実現
- ② 人、もの、金が集まり、自律的に発展できる持続可能な社会経済システムの構築
- ③ ソーシャルキャピタル(社会関係資本)の充実等により、社会的連帯感の回復
- ④ 人々の生活の質を向上させることが究極的な目的

人間中心の「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」とは、
生活基盤の向上のため、環境・社会・経済という3つの価値が創造されるまち



※下線の要素は超高齢化対応に関係が深いもの。

戦略1. 化石・核エネルギーから再生可能エネルギーへ

1. 太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電等
※国土の約2%の面積に太陽電池を敷き詰めると、日本の火力発電による電力量に匹敵
2. ピークカット、蓄電
3. 温暖化対策、エネルギーの自給自足

戦略2. 集中発電から分散発電へ

1. 発送電分離
2. IPP、PPS
3. 東西間相互融通、地域独占から自由競争へ

戦略3. コンベンショナルグリッドからスマートグリッドへ

1. 分散電源と不安定電源のコントロール⇒世界標準へ
2. HEMS、BEMSによる省エネ、有効利用
3. 高付加価値サービス

エコハウス構想

家庭からのCO₂排出「ゼロ」を目指した
エコハウスの実用化に向けて

創エネ

太陽光発電
システム

太陽光発電システム

エアコン

LED照明

冷蔵庫

テレビ

省エネ

エアコン、冷蔵庫
テレビ、LED照明、など

IT

HEMS

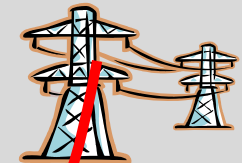
蓄電池

蓄エネ

蓄電池、
電気自動車など

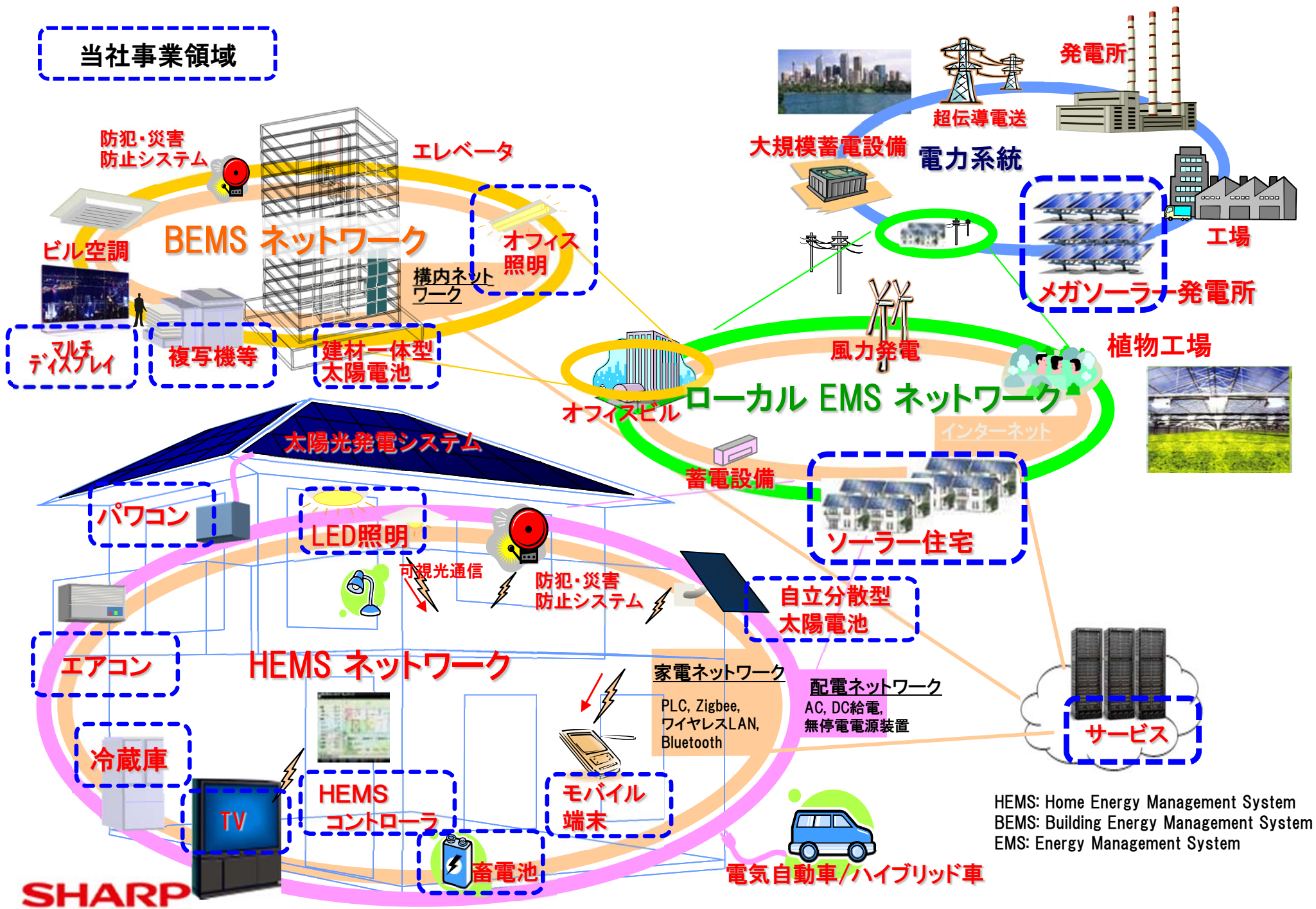
次世代
自動車

— DC給電
— AC給電
— データ



AC100V

環境未来都市のイメージ



新たな産業の創出

情報通信技術

エネルギー

交通

住宅・建築

環境未来都市

教育

医療・介護

モビリティ

観光

国が主導し、自治体、大学・研究機関、企業等の参画をもとに
「環境未来都市」づくりのビジネスモデルを世界に展開

SHARP